

「課題解決型高度医療人材養成プログラム」における工程表

申請担当大学名	国立大学法人神戸大学
連携大学名	
事業名	実践的病院経営マネジメント人材養成プラン

① 本事業終了後の達成目標

本事業終了後の達成目標	
達成目標	<p>本事業では世界トップレベルのグローバルな研究教育拠点として確固たる地位を築いている神戸大学MBAの特徴を活かした実践的なプログラムを開発する。すなわち、①「プロジェクト方式」(PRM: Project Research Method): 病院のデータを活用した実践的プロジェクトを通じて、高度な課題解決能力を育成する。②「研究に基礎をおく教育」(RBE: Research-based Education): 理論および分析手法の教育では、担当教員の研究と関連付けた内容を入れることで、最先端の理論、分析手法に関わる知識を修得する。③「働きながら学ぶ」(BJL: By the Job Learning): 医療機関に従事する医師等が学ぶことで、実務課題を常に意識しながら学習し、学習成果を実務で即実践できる可能性を高める。具体的には医療機関において解決すべき複数の課題について、それぞれ5~6名のプロジェクトチームを編成し、受講生および教授陣でお互いに知恵を出し合いながら、解決策を探索する。受講生は、教員や異業種・異業界の他の受講生とのディスカッションを通じて創造的な解決策を見出すと同時に、実務と理論を融合し専門的知識を深化させ、適切な判断を下す能力を磨く。プロジェクト方式は、同種の課題を持つメンバーと相互に刺激を与え合うことができ、調査プロジェクトから生まれた洞察を病院業務の場に活かすことができる。このように、病院内の様々な医療、経営管理データを用いて医療サービスの質・内容、効率性、財務健全性等に関わる課題を認識し、経験的証拠に基づいて高度で実践的に課題解決できる能力を備えた人材を育成する。</p>

② 年度別のインプット・プロセス、アウトプット、アウトカム

		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
インプット・プロセス (投入、入力、活動、行動)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種専門医療人のキャリア教育・形成支援セミナー(10月、1月頃:各50名) ・経営トップセミナー合宿(11月頃:20名) ・Quality of health care management研修(2月頃:50名) ・医療マネジメントセミナー(3月頃:50名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の将来を担う病院経営者養成コース受入:10名(うち医師3名、看護師2名、事務職員2、薬剤師1名、多職種医療人(臨床検査技師、リハビリ専門職等)2名) ・地域マネジメント養成コース受入:10名(うち医師3名、看護師2名、事務職員2、薬剤師1名、多職種医療人(臨床検査技師、リハビリ専門職等)2名) ・多職種専門医療人のキャリア教育・形成支援セミナー(8月、1月頃:各50名) ・経営トップセミナー合宿(12月頃:20名) ・Quality of health care management研修(2月頃:50名) ・医療マネジメントセミナー(3月頃:50名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の将来を担う病院経営者養成コース受入:10名(うち医師3名、看護師2名、事務職員2、薬剤師1名、多職種医療人(臨床検査技師、リハビリ専門職等)2名) ・地域マネジメント養成コース受入:10名(うち医師3名、看護師2名、事務職員2、薬剤師1名、多職種医療人(臨床検査技師、リハビリ専門職等)2名) ・多職種専門医療人のキャリア教育・形成支援セミナー(8月、1月頃:各50名) ・経営トップセミナー合宿(12月頃:20名) ・Quality of health care management研修(2月頃:50名) ・医療マネジメントセミナー(3月頃:50名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の将来を担う病院経営者養成コース受入:10名(うち医師3名、看護師2名、事務職員2、薬剤師1名、多職種医療人(臨床検査技師、リハビリ専門職等)2名) ・地域マネジメント養成コース受入:10名(うち医師3名、看護師2名、事務職員2、薬剤師1名、多職種医療人(臨床検査技師、リハビリ専門職等)2名) ・多職種専門医療人のキャリア教育・形成支援セミナー(8月、1月頃:各50名) ・経営トップセミナー合宿(12月頃:20名) ・Quality of health care management研修(2月頃:50名) ・医療マネジメントセミナー(3月頃:50名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の将来を担う病院経営者養成コース受入:10名(うち医師3名、看護師2名、事務職員2、薬剤師1名、多職種医療人(臨床検査技師、リハビリ専門職等)2名) ・地域マネジメント養成コース受入:10名(うち医師3名、看護師2名、事務職員2、薬剤師1名、多職種医療人(臨床検査技師、リハビリ専門職等)2名) ・多職種専門医療人のキャリア教育・形成支援セミナー(8月、1月頃:各50名) ・経営トップセミナー合宿(12月頃:20名) ・Quality of health care management研修(2月頃:50名) ・医療マネジメントセミナー(3月頃:50名)
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員会(2回) ・事業統括委員会(1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員会(2回) ・事業統括委員会(1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員会(2回) ・事業統括委員会(1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員会(2回) ・事業統括委員会(1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員会(2回) ・事業統括委員会(1回)

アウトプット (結果、出力)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の将来を担う病院経営者養成コース修了:10名(うち医師3名、看護師2名、事務職員2、薬剤師1名、多職種医療人(臨床検査技師、リハビリ専門職等)2名) ・地域マネジメント養成コース修了:10名(うち医師3名、看護師2名、事務職員2、薬剤師1名、多職種医療人(臨床検査技師、リハビリ専門職等)2名) ・多職種専門医療人のキャリア教育・形成支援セミナー(10月、1月頃:各50名) ・経営トップセミナー合宿(11月頃:20名) ・Quality of health care management研修(2月頃:50名) ・医療マネジメントセミナー(3月頃:50名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の将来を担う病院経営者養成コース修了:10名(うち医師3名、看護師2名、事務職員2、薬剤師1名、多職種医療人(臨床検査技師、リハビリ専門職等)2名) ・地域マネジメント養成コース修了:10名(うち医師3名、看護師2名、事務職員2、薬剤師1名、多職種医療人(臨床検査技師、リハビリ専門職等)2名) ・多職種専門医療人のキャリア教育・形成支援セミナー(8月、1月頃:各50名) ・経営トップセミナー合宿(12月頃:20名) ・Quality of health care management研修(2月頃:50名) ・医療マネジメントセミナー(3月頃:50名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の将来を担う病院経営者養成コース修了:10名(うち医師3名、看護師2名、事務職員2、薬剤師1名、多職種医療人(臨床検査技師、リハビリ専門職等)2名) ・地域マネジメント養成コース修了:10名(うち医師3名、看護師2名、事務職員2、薬剤師1名、多職種医療人(臨床検査技師、リハビリ専門職等)2名) ・多職種専門医療人のキャリア教育・形成支援セミナー(8月、1月頃:各50名) ・経営トップセミナー合宿(12月頃:20名) ・Quality of health care management研修(2月頃:50名) ・医療マネジメントセミナー(3月頃:50名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の将来を担う病院経営者養成コース修了:10名(うち医師3名、看護師2名、事務職員2、薬剤師1名、多職種医療人(臨床検査技師、リハビリ専門職等)2名) ・地域マネジメント養成コース修了:10名(うち医師3名、看護師2名、事務職員2、薬剤師1名、多職種医療人(臨床検査技師、リハビリ専門職等)2名) ・多職種専門医療人のキャリア教育・形成支援セミナー(8月、1月頃:各50名) ・経営トップセミナー合宿(12月頃:20名) ・Quality of health care management研修(2月頃:50名) ・医療マネジメントセミナー(3月頃:50名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の将来を担う病院経営者養成コース修了:10名(うち医師3名、看護師2名、事務職員2、薬剤師1名、多職種医療人(臨床検査技師、リハビリ専門職等)2名) ・地域マネジメント養成コース修了:10名(うち医師3名、看護師2名、事務職員2、薬剤師1名、多職種医療人(臨床検査技師、リハビリ専門職等)2名) ・多職種専門医療人のキャリア教育・形成支援セミナー(8月、1月頃:各50名) ・経営トップセミナー合宿(12月頃:20名) ・Quality of health care management研修(2月頃:50名) ・医療マネジメントセミナー(3月頃:50名)
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員会(2回) ・事業統括委員会(1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員会(2回) ・事業統括委員会(1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員会(2回) ・事業統括委員会(1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員会(2回) ・事業統括委員会(1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員会(2回) ・事業統括委員会(1回)
アウトカム (成果、効果)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・各職種に関する専門的スキルを活かしつつ、全体的な視野に立ってトップ・レベルの意思決定に参画する管理経営人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・各職種に関する専門的スキルを活かしつつ、全体的な視野に立ってトップ・レベルの意思決定に参画する管理経営人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・各職種に関する専門的スキルを活かしつつ、全体的な視野に立ってトップ・レベルの意思決定に参画する管理経営人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・各職種に関する専門的スキルを活かしつつ、全体的な視野に立ってトップ・レベルの意思決定に参画する管理経営人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・各職種に関する専門的スキルを活かしつつ、全体的な視野に立ってトップ・レベルの意思決定に参画する管理経営人材の育成
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的病院経営マネジメント人材養成に係る体系的な教育システム構築及び環境整備 ・上記の情報発信及び普及 ・外部評価による事業計画の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的病院経営マネジメント人材養成に係る体系的な教育システム構築及び環境整備 ・上記の情報発信及び普及 ・外部評価による事業計画の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的病院経営マネジメント人材養成に係る体系的な教育システム構築及び環境整備 ・上記の情報発信及び普及 ・外部評価による事業計画の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的病院経営マネジメント人材養成に係る体系的な教育システム構築及び環境整備 ・上記の情報発信及び普及 ・外部評価による事業計画の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的病院経営マネジメント人材養成に係る体系的な教育システム構築及び環境整備 ・上記の情報発信及び普及 ・外部評価による事業計画の改善

③ 推進委員会所見に対する対応方針

要望事項	内容	対応方針
①	事業の実施に当たっては、学長、病院長等のリーダーシップの下、責任体制を明確にした上で全学的な実施体制で行うこと。また、事業期間終了後も各大学において、長期的な展望に基づく具体的な事業継続の方針・考え方について検討し、自立化した事業体制を構築すること。	本事業では、学長のリーダーシップの下、医学研究科長、附属病院長、経営学研究科長を構成メンバーとする事業統括会議を最高意思決定会議体として設置する。その下部組織として運営推進委員会を定期的に開催し、活動状況を確認するとともに、必要に応じてアクションプランの見直しを図る。補助金事業終了後の事業継続に関しては、大学における自助努力によって運営財源を確保することで可能とする。即ち運営推進委員会により、事業の構成を検討、コーディネーターを置くことにより継続的な実施を進めていく。また、セミナー等に関しては、個別に企業等から直接支援を得ることで事業を継続することも検討している。
②	自己点検・評価や外部評価を実施し、事業の改善を行いつつ、全国の模範となる体系的な教育プログラムを展開すること。その際、受講しやすい環境整備に配慮するとともに、修了者のキャリアパス形成につながる体制を構築すること。	審査機関として、外部評価委員によるアドバイザーボードを設置し、本プラン全体の進捗状況と各取組の成果を毎年審査する。審査結果及び指摘を受けた改善点等を、事業統括会議、進捗管理・運営協議を行う委員会である運営推進委員会にフィードバックすることによって、事業の軌道修正を行う。さらに医学研究科、附属病院、経営学研究科に設置されたアドバイザーボードや附属病院関係病院長会議において本事業の活動状況の報告を適宜行い、アクションプランの見直しを図る。なお、本事業では病院のデータを活用した実践的な「プロジェクト方式」を通じて、高度な課題解決能力を育成する。育成した人材に病院の改善に関する助言をもらいつつ病院経営の評価もする計画である。
③	事業の実施状況や成果等を可能な限り可視化した上で、地域や社会に対して分かりやすく情報発信するとともに、構築した教育プログラムの他大学・大学病院への普及に努めること。	大学附属病院のホームページやフェイスブック等に本事業のサイトをリンクさせる事で、外部からのアクセスを促進し、広く情報発信を行う。コース生募集、講演会、フォーラム、セミナー等の開催情報や各種活動報告を随時アップデートすることによって、本事業の特色を活かした先進的な取組を実現するためのノウハウ、留意点等のみならず事業の成果や効果についても公開する。受講者には経営改善事例についてもわかりやすくホームページやメールマガジンを通じて発信する。特に優れた事例には「経営グッドプラクティス」として取り上げ講演会やセミナーを開催する計画である。また、国民の注目度が高い取組に関しては、新聞や雑誌等のメディアを通じて、その成果をわかりやすく社会に発信する。

④ 推進委員会からの主なコメントに対する対応方針

推進委員会からの主なコメント(充実を要する点)	対応方針
e-learning の仕組みがなく、教育プログラムを受講できるのは神戸近郊に限定されるため、波及効果の拡大に向けた改善が望まれる。	本事業では、双方向の討論などを重視する講義科目が多く、医療機関において解決すべき複数の課題について、プロジェクトチームを編成し、受講生および教授陣でお互いに知恵を出し合いながら、解決策を探索する「プロジェクト方式」を採用していくため、e-learning や通信教育を行う計画はない。近畿圏の神戸大学医学部附属病院関係病院や兵庫県、神戸市とも協議し本事業への積極的な参加を要請するが、国内病院を対象に幅広く募集をし、波及効果の拡大を目指す。